

被災地へ届け

東日本大震災支援活動

3月24日（木）、津奈木中学校生徒が東日本大震災への義援金を西川町長へ手渡しました。これは、未曾有の災害となった東日本大震災の被災地の方々のために、生徒会役員とボランティア委員の17名が中心となって、生徒間で呼びかけを行い、自分たちのお小遣いの中から出しあい集められたものです。代表で訪れた2人は「みんなが協力してくれました。被災地の

方々の復興のために使ってほしいです。」と話していました。JAあきた津奈木基幹支所からもいただき、津奈木町役場でお預かりしました義援金につきましては、平成23年4月22日現在で174万9761円となっており、全て社会福祉協議会を通じて日本赤十字社へ義援金として送金させて頂きました。

また、津奈木町婦人会（日赤奉仕団）でも3月18日



▲代表で手渡した生徒会長の平野雄大さん（右）とボランティア委員長の新立鍊さん（真ん中）



▲義援金を町長に手渡す JA 津奈木基幹支所の方々



▲水光社前で義援金活動を行う婦人会

（金）に募金活動を実施し、たくさんの方々の義援金が寄せられました。集まった義援金は津奈木校区、平国校区合わせて、合計21万1558円となり、熊本県婦人団体連絡協議会を通じて、日本赤十字社に送金されます。各種団体を始め、住民の方々からの温かいご支援、心より感謝申し上げます。なお、義援金箱につきましては、津奈木町役場での設置は4月末をもって終了します。今後は社会福祉協議会で義援金の受け付け

がんばろう！日本

4月18日（月）、東日本大震災による被災地及び被災者の一日も早い復旧・復興を願い、『がんばろう！日本』と書かれた旗を重盤岩の鯉のぼりの下に取り付けました。3月11日に発生した大震災による死傷者、行方不明者は3万人弱となっており、未だ捜索活動が難航している状況です。避難者も含めると被災者の数は計り知れない数となります。こんな時だからこそ国民が一致団結し支え合うべきではないのかと思います。一人一人の力が集まることで大きな力となります。これを機に自分には何ができるのかを考えてみてはいかがでしょうか。



被災者の数は計り知れない数となります。こんな時だからこそ国民が一致団結し支え合うべきではないのかと思います。一人一人の力が集まることで大きな力となります。これを機に自分には何ができるのかを考えてみてはいかがでしょうか。

を行いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。被災地の方々の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

